

投資者の皆様へ

2020年2月26日



商 号 SBIアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

基準価額の下落要因及び今後の見通しについて

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。2020年2月24日に米国株式市場が大きく下落したことを受け、下記のファンドの2月25日の基準価額が大きく下落いたしました。その要因等について運用再委託先であるドリーハウス・キャピタル・マネジメントLLCからのコメントをご報告申し上げます。

1.基準価額及び下落率(2月25日)

ファンド名称	基準価額 (円)	前営業日比 (円)	騰落率 (%)
SBI米国小型成長株ファンド(愛称:グレート・スモール)	10,438	▲653	▲5.9

2.基準価額の主な下落要因及び今後の見通し

(下記のコメントは、上記ファンドのマザーファンドにおいて実質的な運用を行っている、ドリーハウス・キャピタル・マネジメントLLCからのコメントをSBIアセットマネジメントにて和訳・編集したものです。)

中国の中心部で発生した新型コロナウイルスが複数の国々で確認され、世界的な感染拡大への懸念が高まったことから、2月21日・24日の2日間にわたってリスク資産は急落しました。なお、ウイルスがおおむね中国国内にとどまり、中国国外の新規感染者数も15日連続で減少していたことから、2020年2月半ばに過去最高値を更新していた米国の代表的な株価指数(S&P500、NASDAQ総合、ラッセル2000グロース)に対して、本マザーファンドは年初来で相対的に好パフォーマンスを上げていました。

2月17日の週後半から週末にかけて新型コロナウイルスの感染拡大が明確になり、状況が悪化したことにより、直近2日間で世界的な株式市場の急落につながりました。投資家がリスク回避志向を強めて安全資産へ逃避したことにより、米国国債や金相場は堅調に推移しています。一方、市場では世界経済における需要、サプライチェーン、企業業績への影響が懸念されています。

このような環境下における短期的な市場見通しは、当面は新型コロナウイルス感染の状況に大きく左右されるというのが我々の見方です。各国・地域でウイルス感染が引き続き拡大するのであれば、株価のバリュエーションや経済活動には悪影響となるでしょう。

また、ウイルスの感染者数の増加が2四半期にわたって続くかまたは米国においても感染が拡大するようであれば、米国企業の業績や経済成長に大きな悪影響を及ぼすこととなります。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

今回の新型コロナウイルスの感染拡大によるショックは、明らかに投資家心理にネガティブなものであり、予測が非常に難しいものです。しかしながら、中期的には感染拡大による影響は一時的なものであり、ウイルスによるリスクを除けば、米国の経済や企業収益は極めて良好であると我々は考えています。

米連邦準備制度理事会(FRB)は非常に緩和的な金融政策スタンスを採用し、金利やインフレ率は低く抑えられていることから、米国の経済は引き続き堅調な成長率を上げ、米国企業の収益は2019年よりも伸び率が改善するでしょう。

今回の新型コロナウイルスの感染拡大は、債券の利回り曲線(イールドカーブ)反転の主な原動力となっており、米国国債利回りは過去最低水準まで低下しています。債券市場の反応は投資家の慎重姿勢を浮き彫りにしていますが、新型コロナウイルスの感染が抑制されるようであれば、影響は長引かず、経済活動は急回復し、株式市場、特に景気循環セクターの株価は急騰する状況になるでしょう。景気回復のパターンがV字またはU字回復になるかは、新型コロナウイルス感染が経済活動に及ぼす影響の期間や度合いによるでしょう。

我々の短期的な運用戦略は、徐々に慎重姿勢を強めていくというものです。引き続き、健全な財務状況にあり、長期的にみて持続的な成長領域にある多くの米国企業によりバランスの取れたポートフォリオを維持していく方針です。我々はマクロ経済や業界の動向に加えて、ボトムアップ・アプローチにより市場の動向を積極的にモニタリングしていきます。

こうした米国市場に影響を及ぼすダイナミクスが変わるようであれば、我々は今後数カ月にわたって機動的かつ柔軟なアプローチによる銘柄選定を通じてポートフォリオを調整するでしょう。本マザーファンドは引き続き、堅実な成長軌道にあり、長期的な投資テーマに基づく銘柄や業績見通しが改善しつつある多くの銘柄を保有していきます。

以上

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

SBI米国小型成長株ファンド(愛称:グレート・スモール)

ファンドの費用	
購入時手数料	購入価額に3.3%(税抜3.0%)を上限として販売会社が独自に定める手数料率を乗じた額とします。詳細は販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じた額をご換金時にご負担いただきます。
運用管理費用 (信託報酬)	<p>信託報酬は、①基本報酬と②実績報酬の総額とします。なお、信託報酬は毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。</p> <p>①基本報酬 ファンドの日々の純資産総額に年1.5675%(税抜:年1.425%)を乗じて得た額が毎日計上され、基準価額に反映されます。 信託報酬＝運用期間中の基準価額×信託報酬率</p> <p>②実績報酬 実績報酬控除前の基準価額がハイ・ウォーター・マークを上回った場合、その超過額の11%(税抜10%)が毎日計上され、基準価額に反映されます。 実績報酬はファンドの運用実績に応じて委託会社(運用指図権限の委託先を含みます。)が受領します。</p> <p style="text-align: center;">◆ハイ・ウォーター・マークについて◆</p> <p>ハイ・ウォーター・マークとは、川などに設置してある目盛が付いた水位標(最高水位線)のことで、ハイ・ウォーター・マーク方式による実績報酬は、一定時点毎の基準価額が過去の一定時点における最高値を更新した場合に、その更新した額に対して一定の計算式で実績報酬を受領する仕組みをいいます。 ※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。</p> <p style="text-align: center;"><実績報酬にかかる留意事項></p> <p>●日々算出・公表される基準価額は、実績報酬控除後の価額です。したがって、換金される際に、換金時の基準価額からさらに実績報酬が差し引かれるものではありません。 ●実績報酬は、毎計算期末にファンドから支払われますが、この場合も実績報酬は既に費用計上されているため、さらに実績報酬が差し引かれるものではありません。</p>
その他の費用 及び手数料	<p>ファンドの監査費用、有価証券等の売買委託手数料、先物取引やオプション取引等に要する費用、保管費用等本ファンドの投資に関する費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用、開示書類等の作成費用等(有価証券届出書、目論見書、有価証券報告書、運用報告書等の作成・印刷費用等)が信託財産から差引かれます。</p> <p>*これらの費用は、監査費用を除き運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。</p>
投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。	

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

ファンドにかかるリスクについて

【基準価額の変動要因】

本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産には為替リスクもあります。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆様はに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。本ファンドの基準価額の変動要因としては以下のものがあります。なお、基準価額の変動要因は以下に限定されるものではありません。

<主な変動要因>

株価変動リスク

一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、国内外の経済・政治情勢、市場環境・需給等を反映して変動します。本ファンドはその影響により株式の価格が変動した場合、基準価額は影響を受け損失を被ることがあります。特に投資する小型株式等の価格変動は、株式市場全体の平均に比べて大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。

為替変動リスク

外貨建資産への投資については、為替変動による影響を受けます。本ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落(円高)する場合、円ベースでの評価額は下落することがあります。為替の変動(円高)は、本ファンドの基準価額を下げる要因となります。

信用リスク

投資した株式について、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化を含む信用状況等の悪化は価格下落要因のひとつであり、これにより本ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

流動性リスク

株式を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、本ファンドはそのリスクを伴います。例えば、組み入れている株式の売却を十分な流動性の下で行えないときは、市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。

投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様はに帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。